

2014年度事業計画書

公益財団法人 日中医学協会

目 次

－事業の部－

ア 研究助成事業	01
1. 日中笹川医学奨学金制度	
1) 日中笹川医学協力プロジェクト：日中笹川医学奨学金制度（第4次）	
2) 笹川医学奨学金進修生同学会（同学会）	
3) 笹川医学奨学金進修生同学会日本支部（笹連会）	
2. 共同研究等助成事業	
3. 若手在留中国人研究者助成事業	
4. 中国人医師・研究者招聘事業	
イ 学術会議開催事業	02
1. 主催事業	
1) 日中医学交流会議	
2. 共催・後援事業	
1) 日中笹川医学協力プロジェクト学術交流会（共催事業）	
2) 2014年度医学生のための漢方医学セミナー（後援事業）	
3) その他共催・後援事業	
ウ 日中医療協力事業	03
1. 日中笹川医学協力プロジェクト：笹川医学奨学金進修生同学会事業	
2. 経済産業省の医療の国際化に係わる事業	
3. 専門家派遣事業	
4. 医療関連訪日団招請事業	
5. 訪中団派遣事業	
6. 日中乳幼児栄養交流事業	
7. 中国人医療関係者招請・研修事業	
エ 広報事業	04
1. 機関誌『日中医学』（第29巻）の刊行	
2. 機関紙『NEWS LETTER』NO. 33～NO. 35の発行	
3. 中国医学・医療機関への『日中医学』のメール配信	
4. International Chinese Journal of Dentistryへの協力	

－総務の部－

I. 財務基盤の拡充について	04
A. 会員拡大と募金活動	
B. 日本財団に対する助成金申請	
C. その他事業の検討	
II. 協会運営に係わる事項	04
A. 各委員会の委員の委嘱	
B. 公益事業の拡充に係わる検討	

共同研究等助成事業/若手在留中国人研究者助成事業－2014年度受給者一覧	05
--	----

2014年度事業計画

－事業の部－

ア 研究助成事業

1. 日中笹川医学奨学金制度（日本財団助成事業）

1) 日中笹川医学協力プロジェクト：日中笹川医学奨学金制度（第4次）

2014年度/第36期研究者（8名）

5月 来日受入

2015年度/第37期研究者募集及び選考

8月～2015年3月 募集・選考及び訪日のための諸手続き

2) 笹川医学奨学金進修生同学会（同学会）

2014年

6月 同学会2013年度事業監査（日本財団から事務受託）

3) 笹川医学奨学金進修生同学会日本支部（笹連会）

2014年

5月 第36期研究者認定式出席（予定）

2. 共同研究等助成事業

2014年助成 調査・共同研究 最大100万円 受給者後掲

……助成対象領域は「臨床医学・社会医学・歯学・看護」

2015年募集 調査・共同研究 最大100万円 若干名

3. 若手在留中国人研究者助成事業

2014年助成 40万円/人 2件 受給者後掲

……助成対象領域は「臨床医学・社会医学・歯学・看護」

2015年募集 40万円/人 2件（予定）

4. 中国人医師・研究者招聘事業

大学等の研究者からの推薦等による任意の中国人医師・研究者招聘事業

イ 学術会議開催

1. 主催事業

1) 日中医学交流会議

- ・ テーマ 非感染性疾患の予防とコントロール（仮題）
- ・ 開催日 未定
- ・ 場 所 中国国内で開催（未定）

2. 共催・後援事業

1) 日中笹川医学協力プロジェクト学術交流会（共催事業）

- ・ 開催日 2014年9月（予定）
- ・ 場 所 北京
- ・ 備 考 笹川同学会の世界組織（中国本部・支部、日本支部、北米支部、欧州支部）結成学術交流会に出席予定

2) 2014年度医学生のための漢方医学セミナー（後援事業）

- ・ 主 催 小太郎漢方製薬株式会社
- ・ 開催日 2014年7月又は8月
- ・ 開催地 京都府

3) その他共催・後援事業

ウ 医療協力事業

1. 日中笹川医学協カプロジェクト：笹川医学奨学金進修生同学会事業

1) 中国国内研修事業

- (1) 短期研修Ⅰ（総合診療研修、1か月、60人/2会場・各30人）
- (2) 短期研修Ⅱ（診療技術・技能研修、1～2週間、60人）
- (3) 中長期研修（主に笹川生所属病院における臨床研修、6ヶ月、10人）

2) ボランティア診療

(1) 大規模診療

中国国家衛生和計画生育委員会と共同して中国中西部を中心とした僻地におけるボランティア診療

(2) 小規模診療

笹川生を中心としたボランティア診療

3) 専門家派遣

- (1) 上記1)及び2)の事業に係わる専門家の派遣

2. 経済産業省の医療の国際化に係わる事業

- 1) 日中医療交流協議会の運営（日本の医療サービスの輸出支援等）
- 2) 日本・中国における医学医療研修事業
- 3) CFDA（中国国家食品薬品監督管理総局）との定期的交流
- 4) 拠点の設置（「日中医学医療協力推進機構（仮称）」（中国国内に設置）等）

3. 専門家派遣事業

- 1) 学術会議及び日中笹川医学協カプロジェクトに係わる専門家の派遣
- 2) その他派遣事業（中国の医療機関へ日本人専門家を派遣）

4. 医療関連訪日団招請事業

法人会員、任意の医療機関・団体等からの申し出に基づく招請事業

5. 訪中団派遣事業

1) 第6回中国医療事情視察団の派遣

時 期 未定

視察先 未定

2) その他訪中団の実施

会員及び任意の医療機関・団体等のニーズに即した訪中団の実施。

6. 日中乳幼児栄養交流事業

2012年度実施した乳幼児栄養交流を再開する。

7. 中国人医療関係者招請・研修事業

任意の機関・団体からの要請に基づき、訪日研修等に係わる事業。

エ 広報事業

1. 機関誌『日中医学』（第29巻）の刊行

第1号	日中における口腔顔面形成・再建術の現状	14年05月発行
第2号	日中における高齢者ケアと介護	14年08月発行
第3号	大気汚染と健康（予定）	14年11月発行
第4号	日中における血液疾患診療（予定） または不妊症	15年02月発行

2. 機関紙『NEWS LETTER』NO.33～NO.35の発行

NO.33	2014年04月発行
NO.34	2014年09月発行
NO.35	2014年12月発行

3. 中国医学・医療機関への『日中医学』のメール配信

中国の医療機関・医療関係者に『日中医学』の特集ページ（中国語部分）をメール配信する。

4. International Chinese Journal of Dentistry への協力

－総務の部－

I. 財務基盤の拡充について

- A. 会員拡大と募金活動
- B. 日本財団に対する助成金申請
- C. その他事業の検討
日中医学協会のあり方検討委員会における検討

II. 協会運営に係わる事項

- A. 各委員会の委員の委嘱
- B. 公益事業の拡充に係わる検討

共同研究等助成事業/若手在留中国人研究者助成事業－2014 年度受給者一覧

調査・共同研究助成 6 件

臨床系

- ① 佐野 元昭 慶應義塾大学医学部循環器内科准教授
研究テーマ：「免疫老化が加齢性疾患に及ぼす影響の解明」
共同研究者：陸 林 上海交通大学医学院附属瑞金医院心臓内科教授
- ② 大須賀 穰 東京大学医学部産科婦人科教授
研究テーマ：「小胞体ストレス応答の卵胞発育・成熟過程における意義の解明と良好胚
選択マーカーとしての有用性の検討」
共同研究者：趙 琳 大連医科大学附属第二病院産婦人科教授
- ③ 詹 紅 東京大学附属病院循環器内科特任研究員
研究テーマ：「大動脈瘤・解離の発症・進展における Krüppel-like factor 5 (KLF5) の
役割の解明と治療戦略の開発」
共同研究者：鄭 斌 河北医科大学血管生物学講座教授

社会系

- ① 戸塚ゆ加里 国立がん研究センター研究所発がんシステム研究分野ユニット長
研究テーマ：「中国の食道・噴門部胃がん多発地域における DNA 付加体の網羅解析と発
症要因の探索」
共同研究者：魏 文強 中国協和医科大学中国医学科学院腫瘍研究所がん疫学教授
- ② 新添 多聞 京都大学防災研究所気象・水象災害研究部門研究員
研究テーマ：「PM2.5 に対するヒト曝露評価モデルの開発」
共同研究者：王 自発 中国科学院大気物理学研究所教授

看護/歯学系

- ① カルデナス曉東 大阪医科大学看護学部講師
研究テーマ：「日中における 2 型糖尿病患者の治療効果と QOL を高める『ファミリーパ
ートナーシップ』看護援助システムの構築」
共同研究者：石 貞仙 山西省人民医院看護部部長

調査・共同研究助成補欠

- ① 周 馨麗 弘前学院大学看護学部助教
研究テーマ：「中国都市部における高齢患者の退院支援に関する看護師の認識及びその
課題」
共同研究者：芦 鴻雁 中国寧夏医科大学総病院看護部部長

若手在留中国人研究者助成 2件

臨床系

- ① 任 乾 千葉大学社会精神保健教育研究センター大学院生
研究テーマ：「精神疾患の病態解明と新規治療法の開発に関する研究」
指導責任者：橋本 謙二 千葉大学社会精神保健教育研究センター教授

社会/看護/歯学系

- ① 廖 文 大阪歯科大学歯科矯正学講座 大学院生
研究テーマ：「In Vitro ヒト歯根膜様組織に対する至適矯正力の探索」
指導責任者：松本 尚之 大阪歯科大学歯科矯正学講座主任教授

若手在留中国人研究者助成補欠

- ① 董 加毅 大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室研究生
研究テーマ：「マルチビタミンサプリメント摂取と総死亡・がん死亡・循環器死亡との
関連について」
指導責任者：磯 博康 大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学教授